

2025 探究活動の様子



1. 活動テーマ

<テーマ>

不思議！水の色が変わったよ	園名	八尾院内保育ルーム		
	クラス		人数	2名

<テーマ設定理由>

子どもたちの大好きな水あそびの季節になり、身近にある「水」が子どもたちの発見や探究心につながるのではないかと思い、テーマを「水」に設定した。第一弾は、透明で形のない「水」が身近な絵の具と混ざること、目に見えるものになったときの子どもたちの気づきに触れる。

2. 活動スケジュール

日時 6月11日(水)
 10:00 導入(マジック)
 10:10 子どもたちとスタンプづくり
 10:20~ スタンプを使ってお絵描き

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

《準備したもの》水、絵の具、小さなペットボトル、メラミンスポンジ
 画用紙、計量カップ、オーガンジー(手品用)
 《環境設定》水の色の変化に気づき、興味、関心を持つようにする。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

①ペットボトルのふたに絵の具をつけ、ペットボトルに水を入れふたをする。オーガンジーをかぶせて振ると色が変わる手品をする。水の色の変化に興味、関心を持てるようにする。
 ②色水が入ったペットボトルの口にメラミンスポンジを付け、スタンプを作り、そのスタンプで、画用紙に自由に描く。

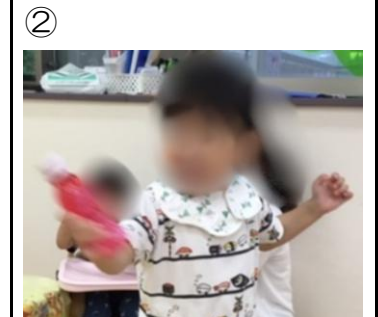
『よく見る、やってみる』子どもの「なんで、(ワンダー)が広がる活動

<活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

①保育者がオーガンジーでペットボトルをかくして、水の色が変わったペットボトルを見せると保育者「色が変わったね。不思議だね！」子ども「ぼくもやってみよう！」と興味をもち始めた



②ペットボトルを手に取ると、とてもうれしそうな笑顔で「いくよー」と言って、力強くふると…「あかに変わったよ！！」



保育者が「きれいな色だね。そのペットボトルを使ってスタンプしてみる？」
 「やってみる！」

③大きな画用紙を用意すると、恐るおそるスタンプを押す子どもや、スタンプを強く押す時と、ゆっくり押す時の違いに関心をもつ子もいた



いろいろな色を押していると、色が重なって、ちがう色に変わることを発見することができ、「あかとあかが重なるとむらさきになるよ！」と教えてくれ色の変化に興味を示していた。



「庭園にあるあじさいみたいだね！」
 毎年たくさんのおあじさいが咲く庭園ことを思い出して教えてくれました。

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

●色と色が重なることで、ちがった色に変化する子どもの気づきは、子どもの探究心に十分に寄り添うことができたからと気づくことができた。
 ●想像以上に集中力が持続していたので、子どもたちの興味や関心に保育者が気づき、子どもたちへの適切な声かけや一緒に楽しむなどの環境を設定する大切さを学んだ。

1. 活動テーマ

活動期間 2025年6月～2026年3月

<テーマ>

スライムをつくろう	園名	八尾院内保育ルーム		
	クラス		人数	3

<テーマ設定理由>

感性を育むために感触遊びを保育に取り入れており、特に様々な素材に触れることを好んでいる姿がみられた。そこで第2弾は液体の「水」が物質と混ざることによってスライム状に変化していく様子を観察し、手指を使って感触遊びを楽しむ。

2. 活動スケジュール

日時 11月25日(火)
 10:00 スライムづくり
 10:20～ 感触遊び

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

《準備したもの》水 絵の具 洗濯のり ホウ砂 計量カップ スプーン ボウル
 《環境設定》子どもたちが水の形や色の変化に気づき、興味、関心をもてるようにわかりやすく説明する

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ① ボウルに洗濯のりを入れる。
- ② ①のボウルに、水を入れる。もう1つのボウルに、水とホウ砂を入れて、よくかき混ぜる。
- ③ ボウル①に、ボウル②に入っているホウ砂水を少し(スプーン1杯程度)入れ、スプーンで良く混ぜる。
- ④ 好きな色の絵の具を入れ、絵の具とスライムが混ざっていく様子を観察する。

<活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育者との関わり>

① 「ちょっとさわってみようか」と保育士が促すと、最初は様子を伺っていましたが、保育士がさわっているのを見て、興味が湧いて指先で触っていた
 スライムをちぎったり、ひっぱったりして感触を楽しんでいた



② 絵の具を混ぜるとどうなるんだろう？
 スプーンを使ってまぜまぜ
 お料理しているみたいだね！



こねていくと、色の変化に気づく
 「スライムがきいろに変わったね！」
 「せんせい！あおをまぜてみようか」
 スライムの色の変化に探究心が芽生えてきた様子



③ 色が完全にスライムと混ざると、
 「パンの生地みたいだね」
 「せんせいもさわってみて！」
 「パンをつくってみよう」



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

スライムを使った感触遊びは、子どもの好奇心を満たし、子どもの自発的な「なぜ？どうして？」という探究心を育むことが改めてわかった。保育士が子どもの発見に気づいて共感したり、共に楽しむことで遊びが広がった。子どもの内に潜む「なぜ？」の芽を育ていけるよう今後も取り組んでいきたい。

1. 活動テーマ

活動期間 2025年6月～2026年3月

<テーマ>

どうなる？さらさらの白い粉	園名	ナーサリー八尾院内保育ルーム		
	クラス		人数	3

<テーマ設定理由>

感触あそびを好んで意欲を持って遊んでいる。今回は小麦粉と片栗粉を準備して、それぞれの感触や匂いの違い、水や絵の具を加えたときの変化を触覚や嗅覚で楽しむ。

2. 活動スケジュール

1/21(水)10時～感触あそび

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

《準備したもの》小麦粉、片栗粉、水、絵の具、計量カップ、トレイ
《環境設定》子どもたちが感触の違いや変化に気づき、触覚や嗅覚で遊びを自由に楽しめるようにする。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ①小麦粉、片栗粉をそれぞれトレイに入れて感触を楽しむ。
また、同じ白い粉の違いに気づき、その気づきを保育者が逃さず、声かけをして探究心を育む。
- ②トレイに水を少しずつ加えて手で混ぜて、感触の変化に気づく。
- ③好きな色の絵の具を加えてさらに混ぜて、形状や色の変化を楽しむ。

<活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

①片栗粉、小麦粉をトレイに入れると早速手を伸ばしていた。

「さらさらだ」「小麦粉の方はいい匂いする」

②水を加えるとどうなる？

「片栗粉は？」→「トロトロ」

「小麦粉は？」→「手にくっつく！」「パンみたい！」

違いに気づくことができた。

③絵の具を加えてさらに混ぜていく。

「茶色を入れてチョコレートパンを作る！」

「手にくっつくと全然取れないね」

「引っ張るとのびたよ！」

小麦粉で作ったピザに、とろとろになった片栗粉をトッピングする姿も見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

複数の素材を準備することで違いが分かり、遊びが広がる。感触の違いを利用して遊ぶ姿も見られ、日々の遊びで培った発想力や展開力が活かしていると気づいた。